

令和8年度 昭和中学校学校運営組織

【学校の教育目標】「ふるさとを愛し、自律して、粘り強く学び、認め合い支え合う生徒の育成」

地域

生徒が地域貢献する場の積極的な提供

- ・生徒が地域行事やボランティア活動できる場をCSや協働ネットワークを通じて設定する

地域とともにあるCS活動

- ・学校公開、各種学校行事、授業支援、4校共通の防災教育

教頭・堀口

家庭

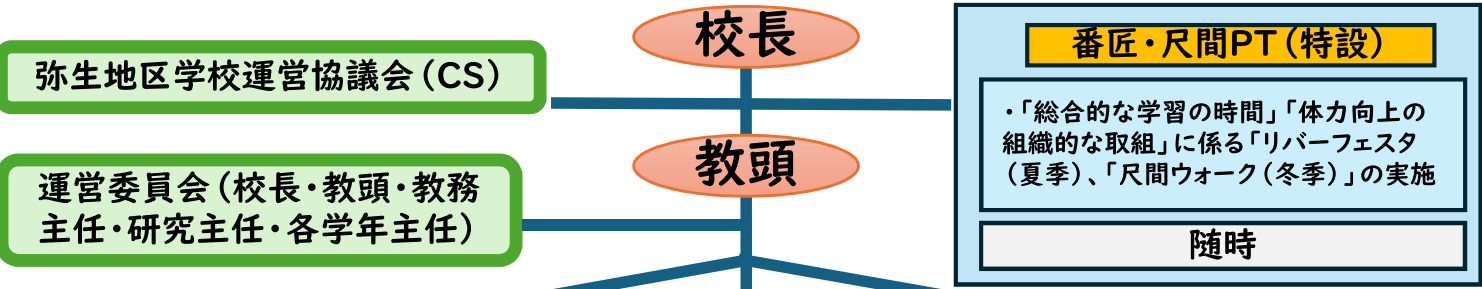
家庭学習習慣の定着

- ・定期テスト前に家庭学習重点期間を設定し、「学習計画表」に保護者の励ましのコメントを記入する。

Neo「9to7ルール」の周知・徹底

- ・PTAと連携し、各家庭へ周知・注意喚起する活動に毎学期取り組む。

教頭・堀口



説明する力

《重点目標》
基礎・基本をもとにわかりやすく説明する力の育成

- ・各教科の定期テストの平均点70点以上が60%以上・40点以下が10%以下。
- ・「資料・問題文から情報の読み取り、取り出しができた」80%以上。
- ・「授業中、工夫して説明することができた」80%以上。

自己指導能力

《重点目標》
目標達成に向けて計画的に自己管理する力の育成

- ・「学校が楽しい」85%以上。(弥生共通目標)
- ・「自分で決めた生活習慣が身についた」70%以上。
- ・「将来の夢や目標をもっている」80%以上。

協働する力

《重点目標》
仲間と協力して新たな価値を創造する力の育成

- ・「ふるさと弥生がすき」90%以上。(弥生共通目標)
- ・「体験したことをもとに、出来事や感想を言葉で表すことができた」80%以上。
- ・「総合的な学習の時間や生徒会活動などで仲間と関わりを深めることができた」80%以上。

基礎学力の定着	「学びのミッション」をもとにした「わかる・できる・楽しい」授業づくり
説明する力の育成	家庭学習と朝学習の連動とICTを活用した補充学習
生徒とともに創る授業	必然性のあるペアグループ活動とプレゼン等の説明の場の設定
	定期テストでの「説明する力」の育成状況の把握
	生徒アンケートをもとにした「学力向上集会」の開催
後藤(正)	村上(徳)・神崎・首藤・須平

自己管理能力の育成	月ごとの生活目標設定と「振り返り」による自己管理
自己理解と他者理解の涵養	「生活習慣状況調査」による生活の客観的把握
	毎月の生活アンケートと「チャンス相談」による個に応じた相談支援
	特別の教科「道徳」の充実による道徳性の涵養
仲谷	尾野・二宮・渡邊・下川

認め合い支え合う学級集団づくり	QU等の客観データと教師の見立ての照合による多角的な生徒分析
共に学び成長する場の設定	人間関係づくりプログラムや演劇的手法を生かした学級集団づくり
	充実した学校行事をによる個人及び集団の成長
	「総合的な学習の時間」と「特別活動」の往還によるキャリア教育の充実
小山	中村・渡辺(勝)・三ヶ尻